



令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 鹿児島県 】

学校名【 和泊町立和泊小学校 】

1 実践テーマ	①・②・③・Ⅳ・⑤（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	4年生 い組39人 5年生 い組40人 6年生 い組22人 ろ組22人 合計123人
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名(体育・外国語) ② 行事名() ③ その他(総合的な学習の時間・学級活動) (2) 地域における活動 ① イベント名() ② その他()
4 目標 (ねらい)	講義・講演や競技体験を通して、スポーツへの興味・関心を向上させ、生涯体育の考えの基礎を養うとともに、障害者に対する理解を深め、オリンピック・パラリンピック競技に関する知識を育む。
5 取組内容	<p>10月5年「パラリンピックについて知ろう」 《学級活動》 「I'm POSSIBLE」を活用し、パラリンピックの歴史や意義を学習した。</p>  <p>《体育・学級活動》 シッティングバレーボールについて「I'm POSSIBLE」の映像で学び、ソフトバレーボールの単元の中で体験した。</p> 

《学級活動》

ボッチャのルールを知り、体験した。セットを1週間借用できたので、昼休みにも教室でルールを工夫して楽しく活動した。



11月 4年「ふれあいの輪を広げよう」

《総合的な学習の時間》

「I'm POSSIBLE」を活用し、共生について考えを深めた。

11月 5年「Unit5 Where is the post office?」

《外国語》

オリ・パラムーブメント事業で使われるピクトグラムについて学習した。



1月 4～6年「パラリンピックやパラリンピック種目について知ろう」

《学級活動》

講師を招き、パラリンピックについての講話やボッチャの体験を通して興味・関心を高めた。

※ 地元ケーブルテレビ（SSTV）取材

※ 新聞社取材（南海日日新聞・奄美新聞）




1月 5年「パラリンピックやパラリンピック種目について知ろう」

《学級活動》

フェンシング競技歴のある本校職員によるフェンシングについての講話を通して興味・関心を高めた。

※SSTV取材 ※新聞社取材（南海日日新聞・奄美新聞・琉球新報）



	<p>1月 5年「ホストタウンについて知ろう」 《学級活動》 和泊町がホストタウンとなっている「ドミニカ国」やホストタウン制度について役場企画課職員の方を講師に招いて学習し、学習後には応援用の手作り国旗を作成することで、ドミニカ国についての興味・関心及び応援しようという気持ちを高めた。</p>  <p>※SSTV 取材 ※新聞社取材（南海日日新聞・奄美新聞）</p>
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ オリンピック・パラリンピックについての講話や競技体験を通して、競技についての知識を深め、興味・関心を高めることができた。 ○ パラリンピックについての講話や競技体験を通して、共生についての意識を高めることができた。 ○ 地元メディアを活用することで、取組の様子を地域に広報することができた。
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ホストタウンになっていることを活かし、自治体に協力をいただいて情報を発信したり、社会福祉協議会と連携してポッチャのセットを借用したり、パラ競技のイベント情報を児童に発信したりするなど、関係機関との連携を図りながら事業を進めた。 ○ 学校だよりや学級だより等で保護者に取り組みを知らせるだけでなく、地元ケーブルテレビや地元新聞社に活動を知らせ、番組や記事に取り上げてもらうことで学校の取組を広く地域に知らせることができるようにした。
<p>8 主な課題等</p>	<p>教育課程の中に位置付けしにくい活動もあり、予備時数で実施したものもあった。内容や目標によっては、工夫次第で教育課程の中の単元で実施できるものもあったので、更に検討や工夫が必要である。</p> <p>また、遠方からの講師招聘や大人数での講話など、新型コロナウイルス対策の観点から実施が難しいものもあるので、対策を講じながら可能な活動を選択し、実施していかねばならない。</p>
<p>9 来年度以降 の実施予定</p>	<p>ホストタウンとなっている利点を生かし、ドミニカ国の応援を児童会で計画したり、オリンピックとの交流を設定したりしていく。</p> <p>また、共生の視点で実施される4年生の総合的な学習の時間に「I'm POSSIBLE」の活用を位置付けたり、5・6年のソフトバレーボールの単元にシッティングバレーを位置付けたり、キャリア教育の中にオリンピック・パラリンピックの招聘を位置付けたりするなど、今年度試行した取組の中で、教育課程上に位置付けられるものを積極的に位置付け、実施していく。</p>